

会員各位
(関係部署にご回送ください)

一般社団法人 日本在外企業協会
専務理事 坂部 隆

「海外安全対策」に関するアンケート調査について (お 願 い)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当協会の事業活動に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当協会の海外安全センターでは、企業の安全対策の実態を把握し、今後の啓発活動や情報提供活動に役立てるために、これまで隔年でアンケート調査を実施してまいりました。

従来の定点観測的なアンケートに加え、今回はCOVID-19感染症流行の鎮静化に伴い、あらためて海外安全対策を見直す機会と捉えた特別アンケートを追加し、今後の皆様の活動の参考となるべく現状の把握ができるように努めました。

つきましては、ご多忙中誠に恐れ入りますが、下記アンケートに回答の上、Eメール添付にて当協会宛、**7月7日(金)**までにご返送くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査のご記入内容につきましては、秘密を厳守し、この調査の目的以外には一切使用いたしませんので、念のため申し添えます。

アンケートの調査結果については、プレス発表および当協会発行『月刊グローバル経営』の誌上でご報告する予定にしております。

敬具

- ◆アンケート調査票： 全6ページ
- ◆ご回答締切日： 7月7日(金)
- ◆返送先： 日本在外企業協会 海外安全センター 安田 宛て
Eメール： yasuda-n@joea.or.jp
- ◆本件問合せ先： (一社)日本在外企業協会 海外安全センター 安田
TEL:03-3567-9271

ご回答は質問に応じ、選択肢の○印または□印にチェックを入れてください。

問1. 貴社の業種について、下から該当するものを1つ選び、チェックを入れてください。

(業種分類は、日本経済新聞株式欄の業種分類を参考とした)

- 水産・農林・鉱業 建設 食品 繊維 パルプ・紙 化学 石油・ゴム 窯業
- 鉄鋼 非鉄金属 金属製品 機械 電気機器 輸送用機器 精密機器
- その他製造 商業 金融・保険 不動産 陸運・海運・空運 倉庫・運輸関連
- 情報・通信 電力・ガス サービス その他

問2. 貴社の海外拠点があるすべての所在地にチェックを入れてください。

- 北米 中南米 西ヨーロッパ 東ヨーロッパ、ロシア、CIS諸国 中東 アフリカ
- 中国(含む香港) 韓国、台湾 東南アジア インド その他のアジア オセアニア

問3. 貴社の現在の海外派遣者・その家族、および年間の海外出張者数(延べ人数)について、それぞれ下から該当するものを1つ選び、チェックを入れてください。

a. 派遣者数

- 50人以下 51~100人 101~300人 301~500人 501~800人
 801人以上

b. 帯同家族数

- 50人以下 51~100人 101~300人 301~500人 501~800人
 801人以上

c. 出張者数

- 100人以下 101~500人 501~1,000人 1,001~3,000人
 3,001~5,000人 5,001人以上

問4. 貴社の海外安全対策の組織・体制について、下から該当するものを選び、チェックを入れてください。(問4-1、問4-2ともチェックは1つ)

問4-1 日本側(本社等)についてお伺いします。

1. 常設の専任組織がある(担当者は専任・兼任どちらでも可)。
 2. 常設の組織はないが、“専任”の担当者を配置している。
 3. 常設の組織はないが、“兼任”の担当者を配置している。
 4. 常設の組織もないし、担当者もないが、緊急時に対応できる危機管理チームを編成している。
 5. 現在は組織もないし、担当者もないが、
 a. 常設の組織を検討している。
 b. 担当者の配置を検討している。
 c. 緊急時に対応できる危機管理チームの編成を検討している。
 6. 組織や担当者を配置していないし、将来の計画もない。
 7. その他

4-2 海外拠点(一部の拠点であっても可)についてお伺いします。

8. 常設の専任組織がある(担当者は専任・兼任どちらでも可)。
 9. 常設の組織はないが、担当者(兼務でも可)を配置している。
 10. 常設の組織もないし、担当者もないが、緊急時に対応できる危機管理チームを編成している。
 11. 現在は組織もないし、担当者もないが、
 a. 常設の組織を検討している。
 b. 担当者の配置を検討している。
 c. 緊急時に対応できる危機管理チームの編成を検討している。
 12. 組織や担当者を配置していないし、将来の計画もない。
 13. その他

問4-1で 6. 以外にチェックを入れた方は、問5にご回答ください。

問4-1で 6. にチェックを入れた方は、問6にご回答ください。

問5. 海外安全対策の組織、あるいは担当者を配置している(検討中を含む)主な理由を下から選び、チェックを入れてください。

(2つまで)

- 自社、自社員の被害体験から。
- 被害の未然防止(予防対策)のため。
- 海外拠点(進出先国)におけるリスク増大に対応するため。
- 緊急時に迅速、適切に対応するため。
- 他社の被害事例を深刻に受け止めたため。
- 安全対策は企業の安全配慮義務と認識しているから。
- その他

問6. 海外安全対策の組織や担当者を配置していない主な理由を下から選び、チェックを入れてください。(2つまで)

- 今まで被害に遭ったことがないから。
- 経営幹部のセキュリティに対する意識が低いから。
- 進出国が比較的危険度の低い国だから。
- 特に準備がなくても、緊急時には本社および海外拠点で対応できると思うから。
- 経費、人手等の余裕がないから。
- 具体的体制構築のノウハウがないから。
- その他

問4-1、4-2で **1、2、3、8、9.** にチェックを入れた方は問7にご回答ください。

問7. 海外安全対策を推進する上で、障害となっている事象や問題点は何ですか。主なものを下から選び、チェックを入れてください。(3つまで)

- 海外安全情報の収集が十分できていない。
- 過去の経験、ノウハウ不足。
- 海外安全対策関係予算の不足。
- 日常的に経営幹部、社員のセキュリティに対する意識が低い。
- 海外派遣者の非協力態度やセキュリティに対する関心の薄さ。
- 会社としての危機管理に対する明確な方針が定められていない。
- 緊急時の行動計画が明確でない。
- 担当者育成のための体制、手法、ノウハウ等の不足。
- 常設でなく他業務との兼任なので、安全以外の日常業務に流されがち。
- その他

問8. 海外安全対策マニュアルの整備状況について、下から該当するものを1つ選び、チェックを入れてください。(海外拠点は一部であっても可)

- 1-a. 本社・海外拠点ともに整備している。
- 1-b. 本社に整備している。
- 1-c. 海外拠点に整備している。
- 2. 作成中または計画中である。
- 3. 整備していない。
- 4. その他

問8で **3.** 以外にチェックを入れた方は、問9にご回答ください。

問9. 貴社の海外安全対策マニュアルの課題もしくは不安な点について、下から該当するものを選び、チェックを入れてください。(3つまで)

- 必要な事項・事象が漏れていないか不安
- どこまで細かく記述するかわからない
- 安全配慮義務に適合しているか不安
- 見直しを行なっていない
- 本社内の関係者に周知・共有できていない
- 海外拠点に周知・共有できていない
- 訓練またはシミュレーションをしていない
- その他

問10. 貴社では、派遣前もしくは派遣後に、安全に関する研修(外部研修を含む)を実施していますか。
下から該当するものを1つ選び、チェックを入れてください。

- 派遣者本人のみ実施している。 派遣者および配偶者について実施している。
- 希望者のみ実施している。 資料配布のみ行っている。
- 将来実施の方向で検討している。 その他
- やっていない。



「やっていない」にチェックを入れた方のみ
問11にご回答ください。

問10で「やっていない」にチェックを入れた方のみ、問11にご回答ください。

問11 派遣前もしくは派遣後に教育・研修を実施していない主な理由を下から選び、チェックを入れてください。(3つまで)

- 海外派遣者は、現地の事情を大体知っているから。 どんな教育・研修を実施したらよいか分からないから。
- 適当な教材や講師が見つからないから。 あまり効果が上がるとは思えないから。
- 経費、人手等に余裕がないから。 現地に任せているから。
- 派遣先の治安事情に不安がないから。
- その他

問12. 貴社では駐在員や帯同家族を国外退避または一時帰国させたことがありますか。
該当した事態を下から選び、チェックを入れてください。

- 戦争・紛争 クーデター・内乱 暴動・デモ テロ 誘拐・脅迫 外国人排斥
- 労働争議 自然災害 大規模事故 感染症の流行(今回のCOVID-19を除く)
- COVID-19の流行 国外退避または一時帰国させた事例はない
- その他

問13. 海外拠点で緊急事態が発生した場合の課題や懸念点について、下から該当するものを選び、チェックを入れてください。(3つまで)

- 本社との連携 トラッキング・安否確認
- 通信連絡手段(衛星電話等)の確保 食料品・医薬品等の備蓄
- 拠点国内での避難場所確保 国外退避の具体的な手順・手段
- 国外退避のタイミング判断 ローカルスタッフの安全対策
- その他

<特別アンケート質問項目> (問14~17)

問14. COVID-19感染症流行前と比較して、現時点での本社の海外安全対策組織・体制について、下から該当するものを1つ選び、チェックを入れてください。

- 組織・体制を強化、または人員を増強した。
- 組織・体制を縮小、または人員を削減した。
- 特に変化はない。
- その他

問15. COVID-19感染症の深刻な流行が収まり、海外派遣や出張が再開する中で、特に懸念している事項について、下から該当するものを選び、チェックを入れてください。(3つまで)

- 戦争・紛争 クーデター・内乱 暴動・デモ テロ 誘拐・脅迫
- 外国人排斥 労働争議 自然災害 感染症流行 身柄拘束
- その他

問16. 本社の海外安全担当または部署として、今後、特に重点的に取り組みたい事項について、下から該当するものを選び、チェックを入れてください。(3つまで)

- 海外拠点における安全教育・訓練 安全対策現地調査(セキュリティサーベイ)
- 国外緊急退避プランの策定 海外駐在員・出張者のトラッキング(安否確認を含む)
- 赴任前・出張前研修 海外安全対策マニュアルの整備・見直し
- 海外安全対策の組織・体制の見直し セキュリティコンサルの起用・見直し
- 経営トップ層の関与の強化 リスク情報の収集・発信
- その他

問17. COVID-19感染症流行を経て、海外安全対策上の新たな気づき、特にやって良かったこと、今後へ向けた課題や教訓等、何でも結構ですので自由に記入してください。

問18. 海外安全に関して、貴社として日頃お感じになっている問題点や悩み・不満等、何でも結構ですので自由に記入してください。

--

問19. 日外協・海外安全センターに対するご意見・ご要望・ご提案等、何でも結構ですので自由に記入してください。

--

質問は以上となります。
アンケートへのご協力ありがとうございました。

お差支えなければ貴社名・記入者の部署名・ご氏名を記入してください。

貴社名	
所属部署・役職名	
ご氏名	

このアンケートでご提供いただいた個人情報は、当協会が責任を持って管理し、当協会からのアンケートに関するご連絡のためだけに使用いたします。